

平成21年ゴールデンウィークの観光客の状況について集計しました。

平成21年ゴールデンウィークに県内観光地を訪れた観光者数について集計した結果は、次のとおりです。

調査目的： ゴールデンウィーク期間中の観光客の傾向を調査し、今後の観光振興施策や観光事業関係者の事業展開の参考資料とする。

調査方法： 県内主要観光施設利用状況、市町村イベント等の動員数 358地点
 高速道路、有料道路利用台数調査 18地点
 登山状況の調査 5地点
 合計 381地点

集計期間： 平成21年4月25日(土)～5月6日(水)の12日間

観光客数： 延べ280万3千人 (前年比 7万3千人増、2.7%増)

1 概況

今年のゴールデンウィークは、前半は飛び石連休となり連続休暇が取りにくい状況だったが、後半は4日間の連続休暇となり、観光客の増加につながったと思われる。特に文化歴史的施設、産業観光関連施設、温泉施設、イベントなどで客数が増加した。

天候は、期間を通じて晴天の日が多かったが、連休の初日4月25日、終盤の5月5、6日は雨となり、特に屋外観光施設・地点などに影響がでた。

7年に1度の御開帳の「甲斐善光寺」、133年ぶりの五重塔再建の「身延山久遠寺」をはじめ、ミレー館をリニューアルした「県立美術館」、太宰治展を企画した「県立文学館」など、特色ある文化歴史関連施設の観光客が大幅に増加した。

善光寺の御開帳に合わせイベントを開催した「甲府・国中地域地場産業センター(かいてらす)」やワイナリーなど産業観光関連施設で客数を伸ばした。

公共温泉をはじめ日帰り温泉で前年に比べ2桁台の好調な伸び率を示している施設が目立った。近場の施設でのんびり過ごしたいという、近年の癒しブームを反映していると見られる。

富士芝桜まつりなどが開催された富士北麓地域では、「花と名水、美し色の山梨へ」キャンペーンなどにより、マスコミに多く取り上げられた「花」をテーマとしたイベントに客数の大幅な増加がみられた。

高速道路に導入された「ETC 休日特別割引」により、観光客の動向が注目されたが、県内の高速道路各ICの出入り状況は若干減少した。これは、本県への来訪者の占める割合の大きい首都圏の観光客が、より遠出をしたためと考えられる。ただし県外での知名度が高いと考えられる個別の観光施設や特色のある施設では、前年より観光客が増えたところが多く、昨年と比べて「中京圏、関西圏の増加」と回答する施設が多かった。

2 各圏域別の状況

太字の施設は入込数記載（別紙「資料」）

【峡 中】

- ・ 前年比 111.4%で昨年に比べ客数が増加した。
- ・ 「**甲斐善光寺**」では、7年の1度の御開帳という大きな行事のため、県内外から多くの参拝者・観光客を集めた。また御開帳に合わせイベントなどを開催した「**県地場産業センター（かいてらす）**」も客数が増加した。
- ・ ミレー館をリニューアルした「**県立美術館**」、知名度の高い作家である太宰治展を開催した「**県立文学館**」も、前年と比べ入館者数が増加した。
- ・ 「**小瀬スポーツ公園**」で期間中にヴァンフォーレ甲府の試合が2試合あったが、そのうち1試合は天候が雨だったため、同数の試合のあった前年と比べ減少した。

【峡 東】

- ・ 前年比91.2%で昨年に比べて客数が減少した。
- ・ 一昨年の大河ドラマの影響で増加した「**恵林寺**」では客数が2年連続で減少した。
- ・ ETC休日特別割引が導入され、首都圏に近い勝沼ICの利用台数の減少、「**雁坂トンネル**」の通行量の低下が目立ち、「**笛吹川フルーツ公園**」、道の駅「**みとみ**」や「**花かげの郷まきおか**」など圏域全体が減少した。

【峡 南】

- ・ 前年比 84.3%で昨年に比べて大幅に客数が減少した。
- ・ 「**身延山久遠寺**」では五重塔が133年ぶりに再建され、観光(参拝)客数が大きく伸びたが、連休終盤の悪天候により地域の有力な集客施設である「**富士川地域地場産業振興センター**」が大幅に減少したのをはじめ、圏域全般的に減少した。

【峡 北】

- ・ 前年比 94.8%で昨年に比べて客数が減少した。
- ・ 「**道の駅こぶちさわ**」、「**道の駅はくしゅう**」など有力な買物施設の減少が影響している。
- ・ 多くの屋外の観光施設については、連休終盤の悪天候などにより客数が減少したが、知名度の高い「**清泉寮**」、「**尾白の森 名水公園**」などの施設は、前年と比べ増加しておりETC 休日特別割引の効果が出ていると思われる。

【富士北麓】

- ・ 前年比109.4%で昨年に比べて客数が増加している。
- ・ 花をテーマにしたイベント「**富士芝桜まつり**」、「**鳴沢ツツジまつり**」等が人気で、ETC休日特別割引の効果もあり多くの客数を集め、それに伴い、「**道の駅富士吉田**」、「**道の駅なるさわ**」でも客数が増加した。
- ・ 一方、「**富士急ハイランド**」、「**北口本宮富士浅間神社**」などの主な屋外観光施設では連休終盤の悪天候などにより客数が減少した。

【東 部】

- ・ 前年比 94.7%で昨年と比べて客数が減少した。
- ・ 日帰り温泉施設の客数が増加しているものの、ETC 休日特別割引の影響で首都圏から近距離であることが敬遠され、圏域全体としては客数の減少となったと思われる。

【問い合わせ】 観光企画・ブランド推進課 堀江 直通 055-223-1556（内線 4108）

圏域別観光客数 (単位:千人・%)

圏域	平成21年	平成20年	対前年比率	平成19年	平成18年	平成17年
峡中	578	519	111.4	517	476	472
峡東	394	432	91.2	432	432	420
峡南	150	178	84.3	190	224	194
峡北	348	367	94.8	440	387	327
富士北麓	1,225	1,120	109.4	1,051	988	985
東部	108	114	94.7	111	112	111
計	2,803	2,730	102.7	2,741	2,619	2,509

主な観光施設の入り込み状況 (単位:人、台・%)

	施設名	平成21年(A)	平成20年(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
峡中	甲斐善光寺	18,136	2,570	15,566	705.7
	県立美術館	8,910	7,164	1,746	124.4
	小瀬スポーツ公園	48,368	56,442	-8,074	85.7
	甲府・国中地域地場産業センター(かいてらす)	16,948	7,371	9,577	229.9
	愛宕山こどもの国	56,692	54,357	2,335	104.3
峡東	恵林寺	5,638	9,540	-3,902	59.1
	県立博物館	6,687	6,759	-72	98.9
	笛吹川フルーツ公園	28,690	36,200	-7,510	79.3
峡南	身延山久遠寺	44,710	39,585	5,125	112.9
	富士川地域地場産業振興センター	29,910	34,750	-4,840	86.1
峡北	清泉寮	44,700	42,900	1,800	104.2
	道の駅 こぶちざわ	42,834	45,258	-2,424	94.6
	尾白の森 名水公園べるが	13,564	10,834	2,730	125.2
富士北麓	富士急ハイランドエリア (4/29~5/6)	90,300	94,300	-4,000	95.8
	道の駅 なるさわ	37,840	36,832	1,008	102.7
	北口本宮富士浅間神社	12,400	14,600	-2,200	84.9
	道の駅 富士吉田	48,948	46,820	2,128	104.5
東部	猿橋	3,270	5,200	-1,930	62.9
	山梨県立リニア見学センター	4,249	3,399	850	125.0
イベント	正の木祭り	70,000	80,000	-10,000	87.5
	中央市玉穂れんげまつり	38,000	40,000	-2,000	95.0
	多摩源流まつり	15,000	12,000	3,000	125.0
有料道路	富士スバルライン (1日当たり)	2,245	2,281	-36	98.4
	雁坂トンネル (1日当たり)	2,383	2,952	-569	80.7
登山	富士山	100	60	40	166.7
	ハヶ岳	400	400	0	100.0
	南アルプス	1,700	1,700	0	100.0
	秩父山系	30,000	30,000	0	100.0
	御坂山系	4,000	5,000	-1,000	80.0